様式３（2020.06改）

作成日　令和3年12月23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000365
事業所名	グループホームつばさ今町　さつき

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍以前は地域活動に積極的に参加し、地域の一員として暮らす日常を意識できていた。コロナ禍では、地域行事も中止となり、ホームの外出自粛と相まって、交流が難しい現状になっている。近隣地域への散歩は継続し、地域の方と挨拶を交わし、小さな交流を継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年3月までは書面開催、5月からは対面の会議を開催している。ワクチン接種、感染予防対策の強化、何より、地域の参加者から「会議は不要不急ではない」と背中を押され、開催に踏み切った経緯がある。共有空間には入らず、入口の相談室での会議となるが、毎回様々な情報や意見・提案があり、有意義な話し合いの場となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に地域包括支援センターの参加があり、市や地域の情報提供等、適切に連携している。市の介護相談員を受け入れ、運営の透明化の一端とし、改善点を共に話し合っている。地域包括支援センター主催の「支え合いの会」に参加し、地域の高齢者・障害施設の代表が会し、「何かできないか」「何ができるか」の話し合いを行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍においては、ホームのコロナ対応・対策について多くの意見が寄せられている。利用者に会えない家族の心配を考慮し、月次の「つばさだより」には写真を多めに同封したり、日々の様子や状態を詳しく記入する等を心掛け、家族の安心に配慮している。家族の意向を反映し、緊急事態宣言下を除き、窓越し面会等を実現している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍においては、状況を判断し、可能な限り対面の会議を開催している。今年度5月からは対面の会議を実施できている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									